

第1回 千秋公園大手門の堀遊歩道基本計画策定のための意見交換会でのおもな意見

日時：令和3年11月19日（金）15：00～17：00

場所：秋田市役所5階 第3委員会室

項目	意見の要旨
1 遊歩道の必要性について	駅に近い堀とハスは全国でも稀であり、観光資源となる。
	計画だからといって事業を進めるのは時代のニーズにあっていないのではないか。
	千秋公園再整備基本計画改定の経緯の中で、何らかの意見あつての計画だと思う。その経緯説明は必要ではないか。
2 堀内の環境配慮について (ハスへの影響等について)	法的な環境アセスメントの必要性はあるのか。また、植生等のモニタリングの実施が必要ではないか。 遊歩道は浮体構造のため、蓮根への影響はないと考える。
	今後の植生バランス等の考えを整理するため、堀内の植生配置計画が必要ではないか。
	浮棧橋の下ではハスは成長しなくなるのではないか。また、アンカーで蓮根に影響が出ないように配慮すべき。
3 遊歩道の利用について	キッチンカーやハスのライトアップ、水上での音楽会、デートスポットなど、関連する多くのイベントが期待できる。
	千秋公園への新しい動線として期待できる。
	新たな都市景観として期待できる。
	想定しているほど集客効果はないと考える。 あきた芸術劇場ミルハスへの動線として、遊歩道に付加価値をつけると良いのではないか。
4 整備効果について	想定する利用者数などの定量的指標が必要ではないか。
	経済効果などの試算はできないか。
5 ルート案について	都市景観の観点からいくと1案がよい。3案は通路となることや、空間が分断されるため、好ましくない。 堀の北側にできる限り寄せて、木陰の創出、堀の中の空間を広く見せるなどもいいのではないか。 秋田市文化創造館前の芝生広場との接続は可能か。
	3案は好ましくない。2案が良い。
	1案か2案がよい。3案はやりすぎではないか。 北側斜面の土塁には手をつけなくてほしい。
	東側ポケットパークと接続せずに、堀の途中で広小路側に折れて、東北電力脇の市道付近で広小路に接続する案はどうか。
	ハスを見る人は想定よりも少ないと考える。 観光客が気軽に利用できる長さ（距離）にすべきではないか。
	ハスへの影響がないか心配。長い遊歩道としなくともいいのではないか。